

【様式3】事業評価個票

資料2-③-④

事業名	農林水産デジタル化推進事業費		開始/終了(予定)年度	令和3 / 令和6		活動指標									
部局・担当課名	農林水産部農業経営・所得向上推進課					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	①塾修了生	活動実績	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標)	
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱2]競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 [政策1]やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成					①塾修了生	活動実績	人	(13)	15	13			
	施策	[施策1]多様な担い手の確保						当初見込み	人	(10程度)	10程度	10程度	10程度	10程度	
事業の目的	目標指標	-					②	活動実績							
						当初見込み									
事業概要 (令和5年度の実施内容)	○実施主体：山形県立農林大学校 ○研修期間：令和5年7月20日～令和6年2月15日（9日間） 7月20日（木）に開講式を開催し、以降、月1回ペースで対面での講座を開催。このほか、オンライン講座やオンラインでの個別指導、卒塾生との交流会を実施。 ○事業委託先：株式会社マイファーム（公募型プロポーザルで決定） ○研修内容（カリキュラム）：経営管理、労務管理、マーケティング、事業計画、スマート農業など ○研修時間：77.5時間（集合研修、オンライン講座、個別指導含む） ○受講対象者：生産力・収益性の向上を目指すとともに、次のいずれかの目標に向けて取り組んでいる若手農業者（概ね50歳以下） 「法人化」「労働環境の改善」「多様な人材の活用（女性の経営参画や農福連携等の取組み）」「地域農業や地域社会に貢献する農業の実現」「スマート農業技術の導入」 ○令和5年度受講生：13名（令和5年度は全員修了） ○修了証：カリキュラムの80%以上を受講し事業計画を策定・発表、提出した場合交付					③	活動実績								
							当初見込み								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他（ ） 上記実施方法とする理由：民間事業者のノウハウを生かし効果的に事業目的を達成するため					④	活動実績								
							当初見込み								
当初予算額 (単位：千円)	予算見積書グループ名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	成果指標（所管部局の分析）							
	① 農業経営へのデジタル技術の導入（育成塾）			4,328	4,095	3,897	3,701	①塾修了生のうち、売上向上、経営コスト削減、法人化等のいずれかの目標を達成した人数（塾修了生の9割の人数を目標値に設定）	成果実績	人	11	14			
	②							目標値	人	12	14	12	12		
	③							達成度	%	92%	100%	0%	0%		
財源内訳 (単位：千円)	計			4,328	4,095	3,897	3,701	②	成果実績						
	国庫支出金			2,037	1,921	1,846	1,745	目標値							
	県債							達成度	%						
	その他特定財源			147	147	147	147	③	成果実績						
一般財源			2,144	2,027	1,904	1,809	目標値								
計			4,328	4,095	3,897	3,701	④	達成度	%						

事業所管部局による評価・検証（令和6年6月）

項目	評価 (ABC)	評価に関する説明	課題
事業の必要性	A	農業人口の不足分を補うためには、高い生産力と経営力を備え他産業と遜色ない水準の所得を確保できるトップランナーや、地域に雇用を生み出す企業的な経営を実践するスーパートップランナーの育成が必要	農業従事者が急速に減少する中で、離農する農家の受け皿となり、農地の荒廃を防ぐとともに新たな雇用を創出し、かつ高い生産性をもって地域を牽引する基幹的経営体については、継続的に育成・確保することが必要。
事業の効率性	A	委託事業者については公募型プロポーザル方式により適切に選定している。	
事業の達成度	A	民間と連携した事業となっており、効果的に実施できている。	今後の対応
事業の有効性	A	毎年募集人数10名程度に対して、13～15名の塾修了生を輩出している。	
事業の有効性	A	本事業を経て、各人が経営への課題意識を持ち、自らビジネスプランを作成・実行することで、令和5年度に目標を達成した。	リーダー育成塾での実効性のある研修内容により、これまでの卒業生からは、その後の法人化や経営の大規模化、販売額の向上など、その成果が着実に得られているところであり、これまでの事業内容を検証しつつ、R7以降の事業展開を検討していく。

(評価基準)「事業の必要性・事業の効率性 A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

「事業の有効性(達成度) A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:おおむね目標どおりの成果、活動見込をおおむね達成(80%以上100%未満)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(80%未満)」

令和5年度 やまがた農業リーダー育成塾 実績について

第1回	
実施日時：7月20日（木）10時00分～17時15分 ※開講式、オリエンテーションを含む 場所：村山総合支庁北村山振興局 5階講堂 講師：ナカスジファーム 中筋氏 ファームサイド（株）佐川氏（メイン講師）	○記念講演：次世代農業者を育て、地域農業を盛り上げる ○第1回講義：受講の心得／経営計画の意義と全体像 ・受講生13名中11名出席
第2回	
実施日時：8月22日（火）9時30分～16時45分 場所：村山総合支庁本庁舎 4F会議室 講師：合同会社 Amahoro 靄島氏 ウォーターセル（株）藤原氏	○経営資源の活用に向けた課題の棚卸し ○人材活用とスマート農業 ・受講生13名中12名出席
第3回 視察	
実施日時：9月5日（火）9時00分～16時00分 場所：東根市内 講師：①（株）やまがたさくらんぼファーム ②（株）テイスコファーム ③よってけポボラ（JAさくらんぼひがしね）コーディネーター 靄島氏	○経営戦略の描き方（現状分析・戦略策定・実践と改善） ○各論：施策の狙いと効果について（スマート農業の活用／人材活用・農福連携／販路の見直し／経営管理） ・受講生13名中13名出席（うち3名は動画視聴）
第4回	
実施日時：10月16日（月）9時30分～16時45分 場所：村山総合支庁北村山振興局 5階講堂 講師：合同会社 SOZO 吉岡氏	○販売（流通）経路の全体像とそれぞれの特徴・価値の発見 ○販路に応じた価値設計（事例解説） ○自身の強み、特徴を探すセルフワーク ・受講生13名中12名出席（うち1名は動画視聴）
第5回	
実施日時：11月16日（木）9時30分～18時00分 場所：山形市民会館 大会議室 講師：ファームサイド（株）佐川氏、卒業生進捗発表：若木氏（（株）竹寿耕友会）、伊藤氏（（株）Farmおとらふ）	○講義：環境分析、ビジネスモデルの選択 ○卒業生進捗報告：事業計画の内容と現在までの進捗、及び質疑応答 ・受講生13名中12名出席（うち1名は動画視聴）
第6回	
実施日時：12月13日（水）9時30分～18時00分 場所：村山総合支庁本庁舎 4F会議室 講師：公認会計士・税理士 原田氏	○決算書に基づく経営管理のポイント ・経営課題の見つけ方 ・適切な会計のためのポイント ・収支計画作成の手法 ・キャッシュフロー計算書 ・受講生13名中12名出席（うち1名は動画視聴）
第7～8回 合宿	
実施日時：1日目：10時00分～17時00分 2日目：08時30分～15時00分 場所：ヒルズサンピア山形 蔵王の間 講師：ファームサイド（株）佐川氏 合同会社 Amahoro 靄島氏	○事業計画Ⅲ、経営計画Ⅱ ・1日目：行動計画、中期計画（ワーク）、個人ワーク、個別面談 ・2日目：意思決定、企画・構成・プレゼン、個人ワーク、個別面談 ・受講生13名中12名出席（うち1名は11日のみ出席）
第9回 経営計画発表会	
実施日時：2月15日（水）10時15分～16時45分 場所：村山総合支庁本庁舎 2F講堂 講師：ファームサイド（株）佐川氏 合同会社 Amahoro 靄島氏	○事業計画Ⅳ ・事業計画の発表 ・質疑応答・アドバイス、総評 ・受講生13名中12名出席（うち1名は11日のみ出席）

※この他、オンライン講座（過年度講義の動画視聴4時間分を含め延べ14時間）、オンラインでの個別指導（延べ10時間）、卒業生交流会を実施

講義風景



講義の様子



ワークの様子



よってけポボラ後藤店長のお話



発表会の様子